

看護学生の介護保険への関心と看護教育

福澤陽一郎, 齋藤 茂子, 梶谷みゆき

概 要

高齢化社会に対応するために、「介護の社会化」を目指して介護保険が開始された。介護保険では、看護職者の役割が大きい、看護教育の役割を検討したものはない。

保健医療制度、在宅看護学、老年看護学の講義の柱から介護保険の内容を理念7項目、重要な柱6項目、基盤6項目、周辺3項目の22項目に分けた。島根県立看護短期大学看護学生246人を対象に、介護保険の22項目について5段階の関心度を2000年11月、2001年1月に調査した。

学年があがるにつれ、介護サービスの総合化、コ・メディカル、諸外国の介護保険制度の3項目を除き19項目で関心が高まった。半数以上の学生が関心を示す項目が、1年生ではゼロ、2年生では3項目であるが、3年生では介護保険の理念や基盤を中心に、22項目のうち11項目と増加していた。

キーワード：看護教育、介護保険、看護学生、調査

I. はじめに

医療、年金、雇用、災害補償の4つの保険に次いで、第5の社会保険といわれる介護保険¹⁾がスタートをきり、1年が経過した。介護保険の理念の中でも重要と考えられる「介護の社会化」により、家庭における介護負担は軽減の方向をみせている。しかしながら、制度の骨幹をなす、利用者主体の実現の困難、利用率の低迷、自立にむけた支援、競争原理によるサービスの量と質の向上など課題も多い^{2, 3)}。

介護保険制度では、看護職に介護支援専門員としての役割をはじめ、病院の枠から離れて、「居宅介護支援事業者」と「在宅介護支援センター」の2つの機関を中心として、要介護者に援助を提供していく重要な役割が期待されて

いる^{4, 5)}。

高齢者が住み慣れた地域で在宅生活を維持していくためには、地域の実情に精通した人材が求められる。そういう人材育成や介護保険の現場で問題となっている「要介護認定と認定区分」「介護保険と医療保険との関連」「看護、リハビリ、介護のサービスのコーディネート」などと看護教育の教育内容について、検討されたものはない。

今回、保健医療制度の講義の重要な柱である、介護保険制度について、学生の主体的参加をはかることと、介護保険に関連する科目間の連携を検討するために、看護学生の介護保険への関心について調査を実施した。

II. 調査方法

島根県立看護短期大学（以下本学という）の看護学科2年生を対象に、保健医療制度の講義時に、介護保険にとって重要な柱を考える上で、

この研究は、島根県立看護短期大学平成12年度特別研究費の助成を受けて実施した。

15項目のうちで重要と考えるキーワードを3つ選択させるアンケートを1999年まで実施した。今回は、保健医療制度の科目以外の在宅看護学、老年看護学の介護保険の講義の柱も参考にし、調査項目を22項目に増やし、かつ各項目の関心度を⑤非常に関心があり、具体的内容を調べた。④関心があり、マスコミ報道などに注目している。③言葉の意味が分かる程度の関心である。②聞いたことはあるが内容はほとんど分からない。①まったく聞いたことがないの5段階に分けて自記式でマークシートに記入する方式にした(参考表)。それぞれ、アンケート調査実施時に趣旨を説明し、集団としてまとめることの理解を得て、看護学科1年生と3年生は2001年1月、2年生は2000年11月の講義時にアンケートを実施した(以下看護学科を省略)。

III. 調査結果

1年生、2年生、3年生のそれぞれの回収数ならびに学年に占める割合は、84人(89.4%)、59人(80.8%)、64人(81.0%)であった。

「非常に関心があり、具体的内容を調べた」と「関心があり、マスコミ報道に注目している」をあわせたものを関心が高いとし、割合の高い項目を表1に示した。割合が高いのは、いずれの学年も、要介護認定であるが、1年生が43.4%に対し、2年生62.7%、3年生82.8%と学年があがるごとに約20%ずつ増加していた。順位は違うものの上位5位以内に、いずれの学年も入っているのが、利用者負担、利用者中心であり、割合は学年が上がるにつれ増加していた。1つの学年のみで、上位に入っていたのは、1年生がチームケア(5位)、2年生が市町村格差(4位)、3年生が要介護支援専門員(ケアマネジャー)(2位)であった。その他の項目で上位にあがっていたのは、在宅ケア、医療と福祉の連携であった。

5段階の関心の程度のうち、「まったく聞いたことがない」と「聞いたことはあるが内容はほとんど分からない」をあわせて、関心が低いとし、割合の高い上位5項目を表2に示した。

コ・メディカルがいずれの学年も第1位であ

り、2年生が91.5%と最も高率で、次いで1年生、3年生であり、いずれの学年も80%を

参考表 介護保険に関するアンケート (マークシート方式)

介護保険制度に関するアンケート調査

この調査は、介護保険についての皆さん関心を調査することにより、本学の教育に活用するためのもので、集団としての結果のみをまとめます。どうぞ、協力をよろしく願います。(調査：平成12年11月)

あなたは、今までに介護保険について(当てはまるものに○印を付けて下さい)

- ・講義で聞いたり、課題を担当したことがある。 a) はい b) いいえ
- ・はいの方は科目名を具体的に記入下さい()
- ・講演会などで、話を聞いたことがある。 a) はい b) いいえ
- ・家族が介護保険を活用している。 a) はい b) いいえ

回答欄に下記のうち当てはまる番号を1つ選んでマークをつけて下さい。

⑤非常に関心があり、具体的内容を調べた。④関心があり、マスコミ報道などに注目している。③言葉の意味が分かる程度の関心である。②聞いたことはあるが内容はほとんど分からない。①まったく聞いたことがない。

1. 在宅ケア.....
2. 利用者のQOL.....
3. 医療と福祉の連携.....
4. チームケア.....
5. ケアマネジメント.....
6. 財源の確保.....
7. 介護報酬.....
8. 被保険者.....
9. コ・メディカル.....
10. 介護サービスの総合化.....
11. 介護の社会化.....
12. 居宅サービス.....
13. 利用者中心.....
14. 市町村格差.....
15. 利用者負担.....
16. 要介護認定.....
17. サービス提供基盤.....
18. 要介護支援専門員(ケアマネジャー).....
19. 介護予防.....
20. 無保険者.....
21. ゴールドプラン.....
22. 諸外国の介護保険制度.....

介護保険に関する疑問、興味ある点などについて自由にお書き下さい
※ご協力ありがとうございました。

表1 介護保険で関心の高い上位5項目の割合

	1年生	2年生	3年生
調査人数	84人	59人	64人
在宅ケア	④30.5	②55.9	
医療と福祉の連携	③31.0		④65.6
チームケア	⑤24.1		
ケアマネジメント			③70.3
利用者中心	⑤24.1	④47.5	④65.6
市町村格差		④47.5	
利用者負担	②36.1	②55.9	④65.6
要介護認定	①43.4	①62.7	①82.8
要介護支援専門員			②75.0

越えていた。順位は違うものの上位5位以内に、いずれの学年も入っているのが、無保険者、介護予防、介護サービスの総合化であり、割合は3年生がいずれの項目も最も低率であった。その他に上位にあがっていた項目は、1、2年生がサービス提供基盤、3年生が諸外国の介護保険制度であった。

アンケートの22項目を内容別に分類し、介護保険の理念に含まれる7項目について、学年別に関心が高い割合を図1に示した。介護サービスの総合化を除いて、学年が上がるにつれ割合が増加していた。50%以上の学生が関心ありとしている項目は、1年生がゼロ、2年生が在宅ケアの1項目、3年生は在宅ケア、利用者のQOL、医療と福祉の連携、利用者中心の4項目と増加していた。

介護保険の重要な柱の6項目別について、学年別に関心が高い割合を図2に示した。コ・メディカルを除いて、学年が上がるにつれ割合が増加していた。50%以上の学生が関心ありとしている項目は、1年生がゼロ、2年生が要介護認定の1項目、3年生はケアマネージメント、要介護認定の2項目であった。

介護保険の基盤の6項目別について、学年別に関心が高い割合を図3に示した。いずれの項目も、学年が上がるにつれ割合が増加していた。50%以上の学生が関心ありとしている項目は、1年生がゼロ、2年生が利用者負担の1項目、3年生は居宅サービス、市町村格差、利用者負担、要介護支援専門員、ゴールドプランの5項目と増加していた。

図には示していないが、介護保険の周辺としての3項目の介護予防、無保険者、諸外国の介護保険制度は、いずれの学年も関心ありの割合が低率であった。

介護保険に関連すると思われる要因について表3に示した。介護保険に関する講義を受けた割合は、1年生では44.7%で半数以下であったが、2年生、3年生では約90%と大半の学生が受けていた。介護保険の講演を聞いた割合は、1年生が8.3%に対し、学年が上がるにつ

れて、2倍、3倍と増加していた。家族が介護保険を活用している割合は、2年生が最も多く、12.7%、次いで3年生、1年生の順であった。

表2 介護保険で関心の低い上位5項目の割合

	1年生	2年生	3年生
コ・メディカル	①86.9	①91.5	①82.8
介護サービスの総合化	⑤71.1	④65.5	⑤32.8
サービス提供基盤	④74.7	⑤57.6	
介護予防	②79.5	③69.5	③51.6
無保険者	③77.4	②79.7	②56.3
諸外国の介護保険制度			④43.8

表3 介護保険への関心と関連要因
(上段：人、下段%)

	1年生	2年生	3年生
講義を受けた	34 (44.7)	50 (89.3)	51 (89.5)
講演を聞いた	6 (8.3)	9 (16.4)	15 (27.8)
家族が利用	5 (6.9)	7 (12.7)	5 (9.1)

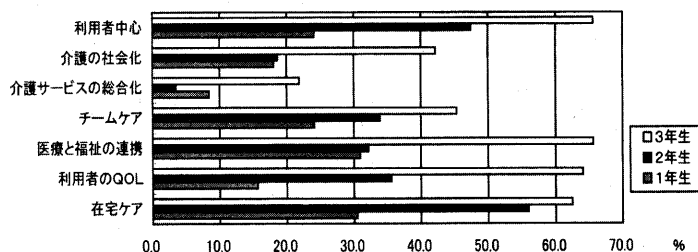


図1 介護保険の理念

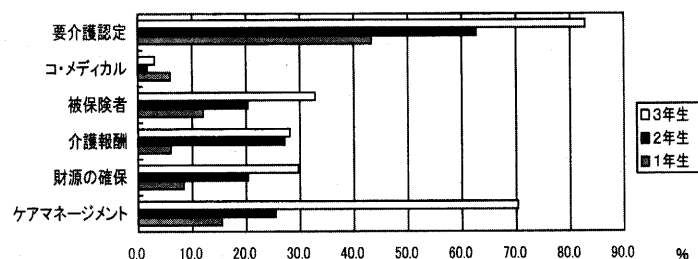


図2 介護保険の重要な柱

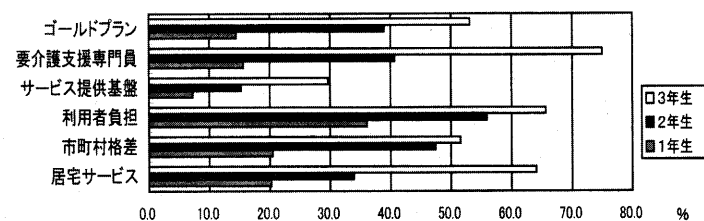


図3 介護保険の基盤

IV. 考 察

高齢化社会に対応するために、介護の社会化をめざして導入された介護保険は、社会保障制度の大きな枠組みを変えようとしている⁶⁾。看護職が多く従事している介護支援専門員は、課題分析、ニーズ把握、ケア会議の召集、居宅介護サービス計画の作成、給付管理や請求事務と多くの課題をかかえ、多忙な業務をこなしている⁷⁾。このような、現場で期待されていることと高齢者が住み慣れた地域で在宅生活を維持していくためには、地域の実情に精通した人材が必要⁴⁾ということをもふまえた、介護保険に対する看護教育が求められている。

介護保険について、看護学生の関心の高かった、要介護認定をはじめ、利用者負担、利用者中心などの上位5項目は、介護保険が定着し、軌道にのるための重要な内容^{3, 7)}であり、学生時代に関心をもち、主体的に学ぶ動機付けができてきている意義は大きい。

介護保険について、関心が低い上位5項目の中で、コ・メディカルが、最も高率となったの

は、講義が他職種者の理解と信頼やチームケアという説明に終わり、用語として利用されることが少なかったことが影響している。無保険者や介護予防に関心が低いのは、調査時が、まだ介護保険のスタート間もない時期で、現場の声としてあがってくる機会が少ないことの反映と思われる。

介護保険の理念と基盤に関する項目は、3年生で半数以上の学生が関心がありとする項目が7項目中4項目、6項目中5項目と多い背景として、2年生での社会福祉概論(必修)、老人福祉論(選択)、保健医療制度(必修)、在宅援助論(必修)、老年特性論(必修)での講義で表4に示した通り、繰り返し聞く機会が多いことが考えられる。そのことは介護保険について講義を受けた割合が、約90%という結果にも示されている。

科目間の調整・連携については、保健医療制度の講義のスタートの前に1回会議をもち、科目の授業のねらいをふまえて、介護保険の柱のどこを担当するか意見交換を行い、可能な限り講義内容の重複が無いようにしている。しか

表4 介護保険の講義内容(抜粋)

保 健 医 療 制 度	在 宅 援 助 論	老 年 特 性 論
2 年 生 後 期	2 年 生 通 年	2 年 生 前 期
1. 介護保険に関連して ・ゴールドプラン ・利用者本位・自立支援 ・総合的サービスの提供	1. マネージメントシステム	1. 介護問題と介護保障
2. 介護の基本 ・予防とリハの重視 ・在宅ケアの推進 ・利用者本位 ・チームケア ・ケアマネージメント ・高齢者のQOL	2. 介護支援専門員制度	2. 要介護者と介護者の実態
3. 介護保険制度について ・介護サービスの社会化 ・在宅介護 ・総合的・一体的・効率的サービス ・民間活力の活用	3. 介護保険制度と訪問看護	3. 公的介護保険制度
4. 具体的内容 ・要介護支援専門員 ・要介護認定 ・保険料	4. 自立支援	4. サービスを受けるまでの流れ
	5. 保健福祉行政の役割	5. 介護サービス報酬
	6. 具体的内容 ・要介護認定 ・介護サービスの質 ・ケアマネージメント ・在宅ケア ・ケアプラン ・チームケア	6. 要介護認定
		7. 高齢者の健康増進

しながら、各学年で、介護保険の項目のどのような内容を教育目標にするのか、理解の到達度の評価などを行っておらず、限られた時間の中で、それぞれの科目の重要なものを優先して講義をしている。そのことが、介護保険の重要な柱の6項目中、3年生で半数以上で関心ありの項目がケアマネジメントと要介護認定の2項目と少なかった要因の1つと思われる。

保健医療制度の講義では、スチューデント・レクチャーの一環⁹⁾として、介護保険に関連した内容を表5の通り実施し、学生が地域にでかけ、創意工夫をしながら学んでいる。

今後は、学生の授業への満足度調査¹⁰⁾を有効に活用し、介護保険を具体的に取り上げて授業評価を実施したり、シラバスの授業内容に詳細に記述するなどの工夫が必要である。

V. ま と め

保健医療制度、在宅看護学、老年看護学の講義の柱から介護保険の内容を理念7項目、重要な柱6項目、基盤6項目、周辺3項目の22項目に分けた。本学看護学生246人を対象に、介

表5 介護保険に関する学生の取り組み
(保健医療制度)

「介護保険を支えるところは」2000.1.26

- ①介護に関連する様々な施設
- ②行政による介護保険制度の活動
- ③保険料を支払う一般の方々
- ④介護保険制度についてアンケート
一般地域住民対象

「介護保険は受け入れられたかどうか」2000.2.7

- ①介護保険について
介護保険のねらい、制度の特徴
サービス内容
- ②介護保険の利用率
- ③介護保険の問題と対策
・保険料、利用料
・介護基盤整備
・要介護認定の公平性
・保険給付
- ④インタビュー
要介護支援専門員
行政の高齢者担当者

護保険の22項目について5段階の関心度を2000年11月、2001年1月に調査し回収率は、84.1%であった

学年があがるにつれ、ほとんどの項目で関心が高まり、3年生では、半数以上の学生が関心を示す項目が介護保険の理念や基盤を中心に、22項目のうち11項目にのぼった。

今回の結果をもとに、保健医療制度の介護保険の講義内容の充実と他の科目との連携をはかり、介護保険のよりよい看護教育方法のあり方を検討していきたい。

引用文献

- 1) 岡本多喜子：介護保険の仕組み，クリニカルスタディ，21(2)，160-161，2000.
- 2) 井上千津子：介護保険制度～1年を顧みて，保健の科学，43(9)，676-679，2001.
- 3) 廣末利弥：介護保険の問題点，保健の科学，43(9)，680-685，2001.
- 4) 福浦忠雄：介護保険と看護職一滝川市における病院と行政の連携を例に一，看護管理，10(2)，88-92，2000.
- 5) 山田雅子：介護保険が始まると看護はこう変わる，Nursing Today，15(3)，20-21，2000.
- 6) 伊藤周平：検証介護保険，青木書店，2000.
- 7) 坪山孝：福祉の枠組みの変化に直面した高齢者福祉，ふれあいケア，7(4)，10-15，2001.
- 8) 雨宮稔起：老々介護一介護保険制度実施1年を経て，労働の科学，56(5)，14-17，2001.
- 9) 福澤陽一郎，中谷久恵，栗谷とし子：看護教育における在宅ケアのスチューデント・レクチャー方式による教育方法の試み，日本在宅ケア学会誌，1(1)，88-94，1998.
- 10) 島根県立看護短期大学：自己点検・評価報告書I，49-52，島根県立看護短期大学，2000.

A Study of Factors Relative to the Positive Attitude of Nursing Students and Learning about the Kaigo Hoken (Insurance for Care and Assistance for the Elderly) System

Yoichiro FUKUZAWA, Shigeko SAITO and Miyuki KAJITANI

Abstract

For the 246 first, second and third grade nursing students at Shimane Nursing College, we analyzed responses on individual questionnaires regarding the Kaigo Hoken (Insurance for Care and Assistance for the Elderly) system.

The higher the grade, the greater the number of students having an interest in the topic. Students who showed an interest in Yo-Kaigo-Nintei (official recognition that you need Kaigo) accounted for the greatest percentage for each grade: 43.4% of the first grade; 62.7% of the second; and 82.8% of the third.

The higher the grade, the greater the number of questionnaires in which more than 50% of the students expressed interest. The number was 0 for the first grade, 3 for the second and 11 for the third.

Most of the third grade were interested in Yo-Kaigo-Nintei, Kaigo-Shien-Senmonin (Kaigo support worker), and health care management.

Key words : nursing education, kaigo hoken system, nursing student, survey